

令和6年度 社会福祉法人三国が丘福祉会 自己評価

保育園の自己評価

A	B	C
出来ている	どちらかと言えば出来ている	出来ていない

項目		三国が丘 保育園	さくら乳児 保育園	
		評価	評価	
保育理念・保育方針	1	保育士一人ひとりが、三国が丘保育園の保育理念、保育方針を理解している。	A	A
	2	保育士一人ひとりが、子どもの自ら育とうとする力を信じ、その育ちを支える環境構成に全力を尽くしている。	A	A
	3	保育士一人一人が「自立(自律)」と「人とかかわる力」を育むことを意識し、毎日の保育をしている。	A	A
	4	一人ひとりの主体性を大切に保育をしている。	A	A
	5	常に保育方針や保育環境を確認できるような機会を作っている。	B	B
	6	保育士一人ひとりが、自己評価をする機会を作り、その問題解決のために向上心を持って取り組んでいる。	B	B
	7	児童福祉法の理念に基づいて、子どもの生活と健全な発達を保証することが保育園の重要な使命であると理解している。	A	A
	8	保育園の保育が、子どもの生涯の基礎を培う極めて大切な役割を担っていると認識している。	A	A

保育計画・指導計画	1	保育方針のねらい及び内容が、達成できるような保育課程や保育計画を立てている。	A	A
	2	保育計画に基づき、子ども一人ひとりの発達の姿や興味を把握して、年間計画、月案、週案を立てている。	A	A
	3	配慮の必要な子には、その子に応じた保育計画を立てている。	A	A
	4	職員間で、子どもの理解を含め、お互いの考えを十分に理解したうえで保育している	A	A
	5	月案や週案等が実際の子どもの姿や興味関心に合っていたかという点から、自分の保育を評価、反省している。	B	B

食育	1	食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている。	A	A
	2	栄養士や保育士等が連携し、会議等で意見を交わしながら、食育活動や給食がより良いものになるように努めている。	A	A
	3	出来るだけ旬の食材を取り入れ、手作りをしている。	A	A

職員構成・役割分担	1	職員の仕事や役割が明確であり、それぞれの仕事を責任を持って行っている。	A	A
	2	各クラスが、連携を取って、円滑な保育園運営が出来ている。	A	A
	3	保育園内外の職員研修が計画的に実施されている。	B	B
	4	危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が出来ている。	B	B
	5	施設や遊具等の安全点検を定期的に行っている。	A	B

保護者支援	1	保護者の子育てを支え、子育ての喜びや大変さを共感している。	A	A
	2	保護者と良好な関係を作ろうとしている。	A	A
	3	保育園の保育内容や子どもの姿がわかるような発信をしている。	B	B
	4	保護者の状況を理解して、個人情報の漏えいに気をつけている。	A	A

小学校や地域の連携	1	近隣の小学校と交流を行っている。	B
	2	近隣の地域の施設や団体と交流し、意見交換を行っている。	B
	3	入園している子どもの保育だけではなく、地域の子育て支援といった社会的役割があることを意識している。	A

保育士の自己評価

令和6年度

三国が丘保育園 さくら乳児保育園

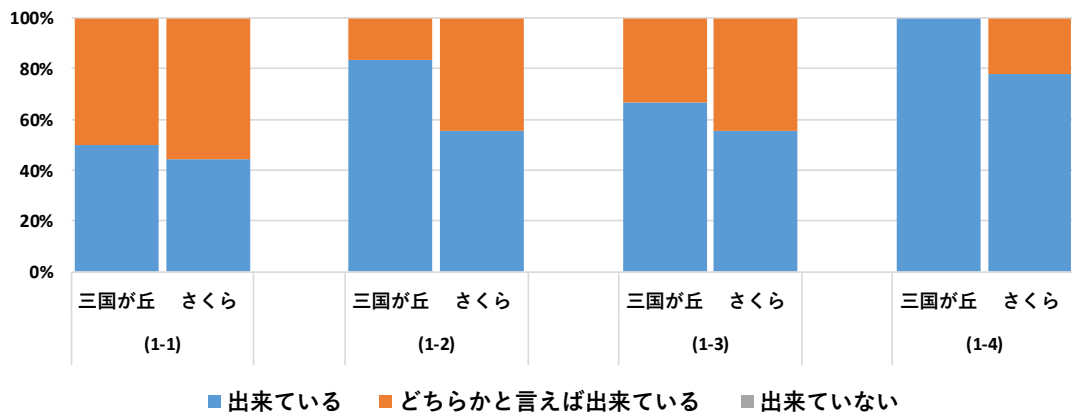
(回答者6人)

(回答者9人)

A	B	C
出来ている	どちらかと言えば出来ている	出来ていない

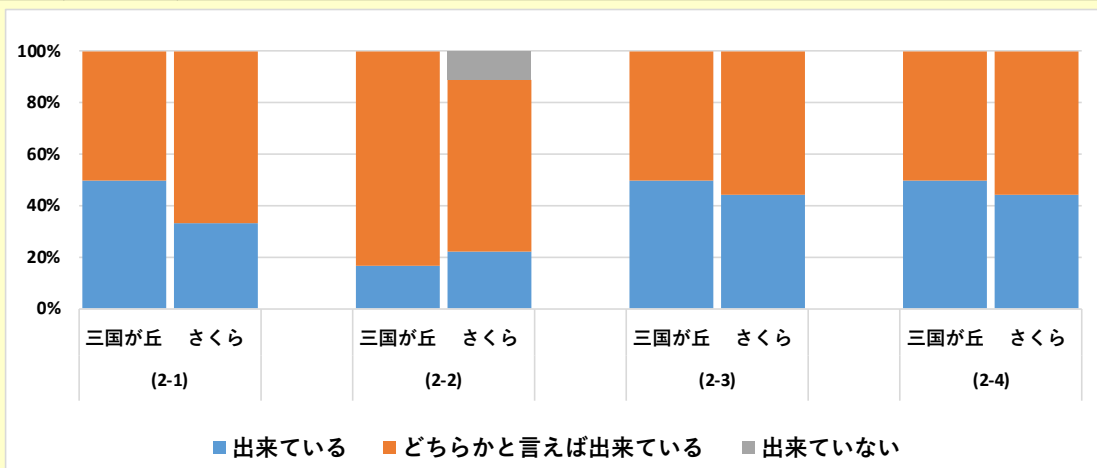
子どもを見守るために

内容	(1-1)	子どもの発達を十分に理解し、子どもが主体的に行動できる空間(場所)、時間、道具(遊具)等の環境を保証している。
	(1-2)	やりたい思いがあるのに、達成できない思いがある子どもに対しては、その子が次の段階に進めるように必要な援助を行っている
	(1-3)	自分からやろうとする意欲が持てない子には、「～したい」という思いが持てるような働きかけ、動機づけを行っている。 (興味を広がりに対応した環境の充実や活動内容の工夫もしている。)
	(1-4)	場所や状況に応じて、常に子どもの見守る体制や位置を考えながら、行動している。園庭や室内で職員同士が長時間固まったりしない。



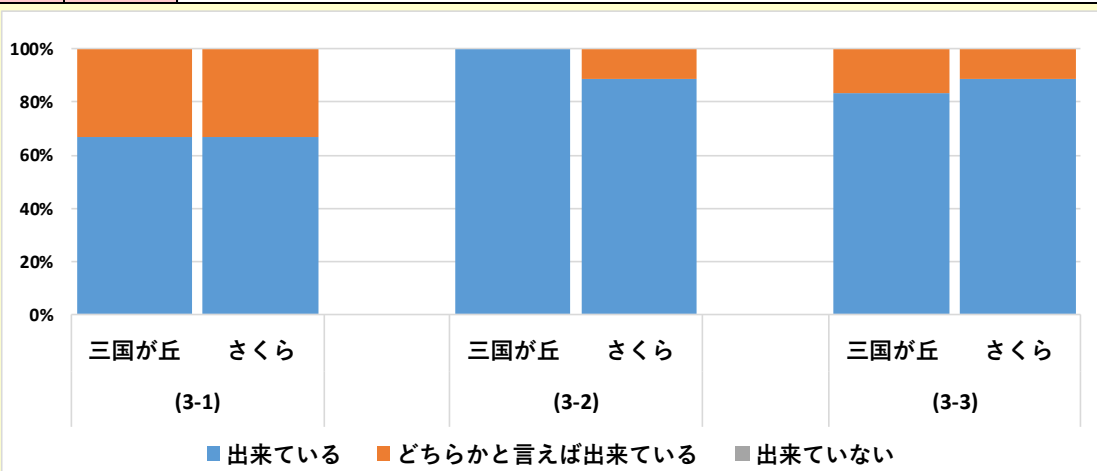
子どもがいつでも遊びこめる環境

内容	(2-1)	子ども一人ひとりの発達や、興味関心に合わせた活動や遊びの提供を心掛けている。
	(2-2)	遊びの環境を造る中で、自分のアイデアを継続的にもち、それを計画的に実践している。
	(2-3)	遊びや自分の面白いと思ったことを保育の中で、生かすことを心掛け、子どもの中でタイムリーに試すことが出来ている。
	(2-4)	季節感や行事を大切に、それに向かって、楽しみを膨らませて行けるような動機づけを行っている。



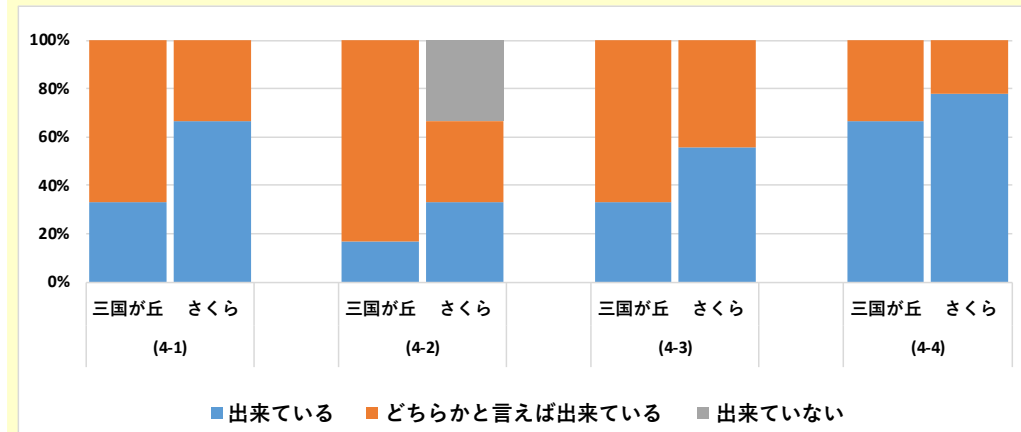
子育て支援

内容	(3-1)	保護者に対して親身になって関わり、関係を築くことに努力している。
	(3-2)	登園の際は、いつでも気持ちよく、子どもと保護者を受け入れている。
	(3-3)	降園の際は、今日の出来事をお知らせしたり、気持ちよく帰ってもらうように心がけている。



いつもきれいな環境

内容	(4-1)	保育園の備品を大切に使用し、使用した後は、自ら片付けている。
	(4-2)	ロッカーや棚の上に、物を載せたりしないように適宜片付けている。
	(4-3)	共有のスペースについては、常にきれいな環境を心掛けている。
	(4-4)	保育園内外に落ちているごみを拾ったり、危険物を見つけたら安全に処理ができる



保育士として心掛けること

内容	(5-1)	子どもの名前を呼び捨てにしない。 「○○!」ではなく、「○○さん」とか「○○ちゃん」と呼ぶようにしている。
	(5-2)	子どもに対する言葉使いが優しい。 「一緒にお片付けしようね」「オムツが濡れたから新しいのに変えようね」等
	(5-3)	子どもの腕や洋服を引っ張ったりしない。 腕を引っ張ると抜ける可能性があるため、引っ張らないように気をつけている。
	(5-4)	自分の役割を理解し、それに努めている。 また、状況に応じて臨機応変に動くように心掛けている。
	(5-5)	保護者への不満や必要のないうわさ話を保育園でしないようにしている。
	(5-6)	保育士として、保護者に恥ずかしくないようプロ意識を持っている。

